

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ①音楽：音楽用語

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 「母の歌と愛撫の歌」はルソーがまとめた遊び歌曲集である。
- 2 「保育唱歌集」は西洋音楽を基本に置いてつくられた。
- 3 團伊玖磨は「ぞうさん」を作曲した。
- 4 雑誌「赤い鳥」は、大正時代に鈴木三重吉が創刊した。
- 5 オイリュトミーはダルクローズが提唱した身体運動芸術である。

## 解答

- 1 × ルソーではなく、フレーベルである。
- 2 × 西洋音楽ではなく、雅楽を基本にしていた。
- 3 ○ 『保育士合格テキスト&問題集』下巻P.374参照。
- 4 ○
- 5 × ダルクローズではなく、ルドルフ・シュタイナーが提唱した。

## 確認問題

## 9 保育実習理論 ②音楽：演奏記号

『保育士合格テキスト&問題集』9章「2 音楽：演奏記号」および巻末（P.374～376）の演奏記号の内容からの出題です。

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 以下の演奏記号のうち、「少し強く」表現する記号はエである。  
ア *pp*    イ *mp*    ウ *mf*    エ *ff*
- 2 以下の演奏記号のうち、最も「速い」表現を示す記号はアである。  
ア *presto*    イ *allegretto*    ウ *moderato*    エ *grave*
- 3 *M.M.* はメトロノームの速度記号である。
- 4 以下の演奏記号のうち、「だんだん遅く」を意味する記号はウである。  
ア *accel.*    イ *ad lib.*    ウ *a tempo*    エ *rit.*
- 5 以下の演奏記号のうち、「激しく」を意味する記号はイである。  
ア *tranquillo*    イ *amabile*    ウ *agitato*    エ *leggero*
- 6 *brillante*は「静かに」を意味する記号である。
- 7 *comodo*は「気楽に」を意味する記号である。
- 8 *legato*は「なめらかに」を意味する記号である。
- 9 *D.S. (Dal Segno)* は「始めに戻る」という意味である。

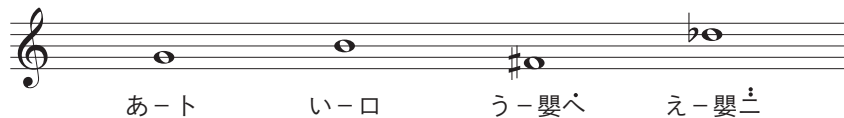
### 解答

- 1 × エではなく、ウである。
- 2 ○
- 3 ○
- 4 × ウではなく、エである。
- 5 × イではなく、ウである。
- 6 × 「静かに」ではなく、「はなやかに」である。
- 7 ○
- 8 ○
- 9 × 「始めに戻る」ではなく、「セーニョに戻る」である。

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ③音楽：楽譜の読み方

1 以下のあ～えを日本の音名で表した場合、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。



A musical staff with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). It contains four whole notes. Below the staff are the labels: あート, いーロ, うー嬰ハ, えー嬰ニ.

2 以下のA、Bの曲名が正しい場合は○、誤っている場合は×をつけなさい。



Two musical staves, A and B, both in 4/4 time. Staff A has a key signature of two flats (B-flat and E-flat) and contains a melody of eighth and quarter notes. Staff B has a key signature of one flat (B-flat) and contains a melody of quarter notes.

A - お正月

B - やぎさんゆうびん

## 解答

1 あ × トではなくトである。

い × ロではなくロである。

う ○

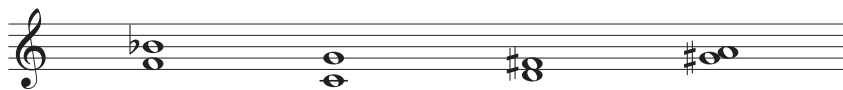
え × 嬰ニではなく、変ニ

2 A × 「お正月」ではなく、「春が来た」である。

B × 「やぎさんゆうびん」ではなく、「ちょうちょう」である。

**確認問題****9 保育実習理論 ④音楽：音程**

1 以下のA～Dの2音間の音程が正しい場合は○、誤っている場合は×をつけなさい。



A - 完全4度    B - 減5度    C - 長3度    D - 長2度

2 次のE、Fの長3度下の音を日本の音名で表した場合、正しいものには○、誤っているものには×で答えなさい。



E - ニ

F - 変ト

**解答**

- 1 A ○  
B × 減5度ではなく、完全5度である。  
C ○  
D × 長2度ではなく、短2度である。
- 2 E × ニではなく、変ホである。  
F ○





## 確認問題

## 9 保育実習理論 ⑦音楽：和音

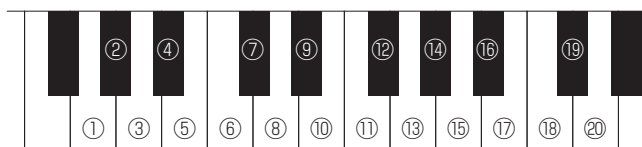
1 次の和音のコードネームを語群から選びなさい。



語群 D<sub>m</sub> D<sub>7</sub> D F<sup>#</sup> F<sub>m</sub> E<sub>7</sub> A A<sub>7</sub>

2 次のコードネームにあてはまる鍵盤の位置として正しい組み合わせをひとつ選びなさい。

	ア	イ	ウ
F <sub>7</sub>	: ⑨ ⑪ ⑮	⑪ ⑮ ⑱	② ⑥ ⑪
D	: ⑧ ⑪ ⑮	⑧ ⑫ ⑯	⑫ ⑮ ⑳
C <sub>m</sub>	: ① ⑥ ⑨	⑥ ⑨ ⑫	⑩ ⑬ ⑱
E <sup>b</sup>	: ⑩ ⑭ ⑰	⑨ ⑫ ⑯	④ ⑨ ⑬



(組み合わせ)

	F <sub>7</sub>	D	C <sub>m</sub>	E <sup>b</sup>
1	ア	ウ	ア	ウ
2	ア	ウ	イ	ウ
3	イ	イ	イ	ア
4	イ	ア	ア	イ
5	ウ	ア	ウ	ア

## 解答

1 ア A イ E<sub>7</sub> (第5音が省略されている) ウ D<sub>m</sub>

2 1 (F<sub>7</sub>のアは第5音が省略されている)

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑧造形・絵画：発達

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 スクリブルは描く活動の始期にみられる。
- 2 描いたものに意味をつける意味づけ表現は象徴期にみられる。
- 3 前図式期にみられる、人物の頭と胴体が分かれておらず頭から直接手や足が出ている表現をアニミズム表現という。
- 4 「基底線」は図式期に描かれるようになる。
- 5 本来見えないものを透視したように描く表現を多視点表現という。

## 解答

- 1 ○
- 2 ○
- 3 × アニミズム表現ではなく、頭足人である。
- 4 ○
- 5 × 多視点表現ではなく、レントゲン表現である。



## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑨造形・絵画：色彩

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 色光の三原色は、赤、青、黄である。
- 2 赤に白を加えてピンク色をつくった場合、明度と彩度は高くなるが、色相は変わらない。
- 3 12色相環における赤の補色は、青である。
- 4 実際に色を混ぜるのではなく、細かい色の点等を並べて、離れて見たとき並んだ色が混合したように見えるものを加法混色という。
- 5 明度の違う2色を配置したとき、明るいほうの色はより明るく、暗いほうの色はより暗く見える対比効果を明度対比という。

## 解答

- 1 × 正しくは、赤、青、緑である。
- 2 × 明度は高くなるが、彩度は低くなる。有彩色に無彩色を加えても色相は変わらない。
- 3 × 赤の補色は、青緑である。
- 4 × 加法混色ではなく、併置（並置）混色である。
- 5 ○

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑩造形・絵画：画材と技法

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 絵の具の筆は、号数が大きいほど太くなる。
- 2 テラコッタ用粘土を焼成する場合は、200～300℃が適している。
- 3 色の濃淡等、規則的な比例のもとにだんだん変化するリズムのことをシンメトリーという。
- 4 クレヨン、パス類等の油性のもので描いた上に水溶性絵の具を塗り、撥水性を楽しむ技法をスクラッチという。
- 5 ステンシル技法の版の形状は、凹版である。

## 解答

- 1 ○
- 2 × 正しくは、700～800℃である。
- 3 × 記述はグラデーションの説明文である。
- 4 × 記述はパチックの説明文である。
- 5 × ステンシルは、孔版である。

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑪言葉：発達と言語教材

次の記述のうち、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 話し言葉の一応の完成をみるのは3歳頃である。
- 2 「スイミー」「はらぺこあおむし」の作者はエリック・カールである。
- 3 「三びきのやぎのがらがらどん」はロシアの民話である。
- 4 紙芝居をする際は絵を抜くタイミングに留意し、場面転換を効果的に行うとよい。
- 5 うちわのように人物の絵等を描いた紙に棒をつけたものを両手に持って、動かしてお話等を進める活動をパネルシアターという。

## 解答

- 1 × 3歳頃ではなく、4歳頃である。
- 2 × 「スイミー」の作者は、レオ・レオーニである。
- 3 × ロシアではなく、ノルウェーの民話である。
- 4 ○
- 5 × 記述はペープサートまたはペーパーシアターの説明文。

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑫保育所保育指針：「言葉」「表現」

次の記述は「保育所保育指針」の一部である。下線部分の語句が正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。
- 2 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
- 3 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材を使いこなす。
- 4 かいたり、つくったりすることを楽しみ、日常生活に使ったり、鑑賞したりなどする。
- 5 自分のイメージを表情や言葉などで表現したり、描いて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

## 解答

- 1 ○
- 2 ○
- 3 × 「粘土」は正しい。「素材を使いこなす」→「素材に触れて楽しむ」。
- 4 × 「日常生活」→「遊び」、「鑑賞したり」→「飾ったり」。
- 5 × 「表情」→「動き」、「描いて」→「演じて」。

## 確認問題

### 9 保育実習理論 ⑬ 児童福祉施設の基準

次の記述は「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」の一部である。下線部分の語句が正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

- 1 児童福祉施設は、最低基準を超えて、常に、その設備及び運営を維持させなければならない。
- 2 児童福祉施設は、入所している者の意向に十分配慮するとともに、一人一人の個性を尊重して、その運営を行わなければならない。
- 3 避難及び消火に対する訓練は、少なくとも毎年一回は、これを行わなければならない。
- 4 児童福祉施設の職員は、常に自己研鑽に励み、法に定めるそれぞれの施設の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。
- 5 乳児院、児童養護施設、障害児入所施設、児童発達支援センター、児童心理治療施設及び児童自立支援施設は、(中略)苦情の公正な解決を図るために、苦情の解決に当たつて当該児童福祉施設の職員を関与させなければならない。
- 6 児童養護施設における学習指導は、児童がその学力、性格等に応じた学習を行うことができるよう、適切な相談、助言、情報の提供等の支援により行わなければならない。
- 7 児童自立支援施設における生活指導及び職業指導は、すべて児童がその適性及び能力に応じて、自立した社会人として健全な社会生活を営んでいくことができるよう支援することを目的として行わなければならない。
- 8 児童家庭支援センターにおける支援に当たつては、児童、保護者その他の生活状況の把握に努めるとともに、迅速を旨としなければならない。

## 解答

- 1 × 「維持」→「向上」。
- 2 × 「意向」→「人権」、「個性」→「人格」。
- 3 × 「毎年一回」ではなく「毎月一回」。
- 4 ○
- 5 × 「公正な」は正しい。「職員」→「職員以外の者」。
- 6 × 「学力、性格」→「適性、能力」。「情報の提供」は正しい。
- 7 ○
- 8 × 「生活状況」→「意向」。「迅速」→「懇切」。